

## 東京大学 COI-サテライト ワークショップ

---

### エネルギーシステムにおけるイノベーション —世界的な潮流である脱炭素化への展望—

再生可能電源、特に太陽光発電の大量導入に伴い、電力システム、ひいてはエネルギーシステム全体に大きな変革の波が押し寄せている。既に九州電力管内をはじめとして太陽光発電の出力抑制も行われている。一方、世界的にみても、中東産油国やアフリカ諸国も含め、脱炭素化に向かう動きが加速しつつある。エネルギーシステムの低炭素化と脱炭素化は本質的に異なるものであり、脱炭素化を可能とする技術、経済面の障壁は極めて高い。

本ワークショップでは、エネルギーシステムにおけるいくつかの有望なイノベーションを展望すると共に、再生可能電源大量導入時代の電力システムの安定化に資する方策を検討する。また、今回は公共交通分野の専門家もお招きし、エネルギーとモビリティの共進化により、両分野の問題を解決する新たな方策を提言する。

- 日時           2019年12月3日(火)      13:00 ~16:45
  
- 会場           学士会館 202号室
- 主催           東京大学 COI (Center of Innovation) サテライト
- 共催           国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター(JST/LCS)
- 定員           100名
- 参加費        無料

## プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶  
石原 晋也 (九州大学 持続的共進化地域創成拠点 プロジェクトリーダー)
- 13:05-13:10 ビジヨナリーリーダー挨拶  
佐藤 順一 (COI プログラムビジョン3 ビジヨナリーリーダー)
- 13:10-13:30 趣旨説明  
松橋 隆治 (COI-S 研究リーダー/東京大学工学系研究科教授)
- 13:30-14:00 E Vを用いたモビリティと電力アンシラリーサービスの設計と評価  
有吉 亮(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 特任准教授)
- 14:05-14:35 家電製品を用いた電力システムのインバランス補償システムの実証実験  
榎原 友樹(株式会社 E-konzal 代表取締役)
- 14:40-15:10 再生可能電源による電気と水素のコプロダクションシステムの経済性評価  
吉岡 剛 (東京大学大学院工学系研究科 特任研究員)
- 15:15-15:45 燃料電池を用いた電力システムのインバランス補償システムのモデル分析  
越智 雄輝 (株式会社 E-konzal 研究員)
- 休憩 (15:50~16:05)
- 16:05-16:45 まとめと討論  
松橋 隆治 (COI-S 研究リーダー/東京大学大学院工学系研究科 教授)
- 16 : 45 閉会挨拶  
松橋隆治

### 本ワークショップでいただいたご発言等の公開について

本ワークショップは公開といたします。なお、プログラム、発表者については、後日ホームページで紹介予定です。ご発表資料について、発表者の承諾がいただけた場合のみ公開いたします。議事録については、発言者の皆さまに確認いただき削除希望のご発言などをご指定いただいた後、発言者を削除した形で公開予定です。ご発言については、ご希望の場合削除することが可能ですので、是非活発なご議論をお願いしたいと希望しております。

## 参加申し込み

次の URL あるいは QR コードより「COI ワークショップ申し込みフォーム」にご入力ください。

<http://enesys.t.u-tokyo.ac.jp/ws/index.html>



問い合わせ先：COI ワークショップ事務局 info@enesys.t.u-tokyo.ac.jp

受付締切：2019年11月25日（月）17：00

※ご記入いただいた個人情報は、本ワークショップの開催の目的の範囲で利用させていただきます。

1. ご氏名（必須）
2. ふりがな（必須）
3. ご所属（必須）
4. 役職（任意）
5. E-mail（必須）
6. 電話番号（任意）
7. ご興味のある内容や参加のきっかけなど（任意）

## <学士会館アクセス>

地下鉄都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線 「神保町」 駅下車 A9 出口から徒歩1分  
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28 TEL.03-3292-5936（代表）

